



日々の行動で未来を変える エシカル消費

使ったり食べたり、買い物したり、日常生活で欠かせない消費行動。一人一人が、この行動に少しの配慮を加えて明るい未来を目指しましょう。

岡山消費生活センター
(☎225-3329、☎221-6282)

この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】



思いやりのある行動を

エシカル消費は、直訳すると「倫理的な消費」。商品やサービスを選ぶとき、人や社会、環境、地域に配慮した行動をとることです。

消費で未来を変える

商品が届くまでの背景や廃棄された後

の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるような物やサービスを利用することが、次の世代へバトンをつないでいく私たちの役割です。

まずは、日々の生活の中で、できることから始めませんか。具体的な取り組み事例など、詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 342077



今からできるエシカル消費

私も実践中です

環境への配慮 × 使う



消費生活センター 金澤陽介 主事

マイボトル、マイバッグは、近頃は当たり前に使っている人も多いですね。私はマイ箸も「持ち歩く」ようにしています。

日常生活の何気ない行動の積み重ねが、世界で心配されている環境問題に大きな効果を生み出すはず。より良い未来に向かって、一步を踏み出しましょう。

地域への配慮 × 食べる

地元産ならではの、とれたての野菜。みずみずしくて、おいしさも格別です。家庭やお店で地元の食材を使った料理を「食べる」ことは、地元を応援することにつながります。



人・社会への配慮 × 買う



おやつもエシカル消費で。障害者が働く施設などで作られた菓子や製品を「購入する」ことは、障害者の経済的な自立のための大きな支援につながります。

より多くの人の持続可能な生活のため、人・社会に配慮された商品を購入しませんか。

環境に配慮した消費

- マイバッグやマイボトルを使って、プラスチックごみを減らす
- 再生素材やオーガニック素材を選ぶ
- 残さず食べて食品ロスを減らす

地域に配慮した消費

- 地元産の物を食べる
- 地元のお店で食べる
- 地域に根差した伝統工芸品を購入する

エシカル消費

人・社会に配慮した消費

- フェアトレード認証商品や障害者などの社会進出につながる商品を選択する
- 必要な物を必要な分だけ購入する(買いだめ、買い占めをしない)